

4 病院事業

(1) 事業数及び施設の状況

13年度の事業数は、15事業である。

施設の状況についてみると、病院数は18病院で、経営主体別では、市立6病院、町立9病院、一部事務組合3病院であり、病院種別では、一般病院17病院、精神病院1病院となっている。

また、病院規模別では、病床数100床未満の小規模病院が5病院で、全体の29.4%を占めている。(第1表)

第1表 事業及び施設の状況

(平成13年3月31日現在)

経営 種別	病床規模別 主体別	50床	50床	100床	150床	200床	250床	300床	計
		未	満	未	満	未	満	未	
一般 病院	市立	0		1		1		4	6
	町立	4	1	1	1	2			9
	一部事務組合立			1				1	2
	小計	4	1	3	1	3	0	5	17
精神病院	一部事務組合立							1	1
合計		4	1	3	1	3	0	6	18
全体に占める割合(%)		22.2	5.6	16.7	5.6	16.7	0.0	33.3	100.0
事業数									15

(2) 利用の状況

病床数は、4,030床で、前年度(3,910床)に比べ120床(3.1%)増加した。

患者数は、年間延外来者数が222万5,913人で、前年度(218万2,378人)に比べ4万3,535人(2.0%)増加した。

年間延入院患者数は132万7,973人で、前年度(130万9,836人)に比べ1万8,137人(1.4%)増加した。

また、年間延外来患者数の年間延入院患者数に対する割合は167.6%で前年度(166.6%)に比べ1.0ポイント増加した。

病床利用率は、全体で92.1%で前年度(91.8%)に比べ0.3ポイント上昇している。これを病床種別ごとにみると、一般病床93.3%、結核病床42.1%、精神病床98.4%となっている。

(第2表)

第2表 利用状況の推移

項 目		年 度	平成13年度	平成12年度	差 引	対前年増減率
					-	/ -1 × 100
病 床 数 A			4,030	3,910	120	3.1
患者数 (年延)	外 来 (人) B		2,225,913	2,182,378	43,535	2.0
	入 院 (人) C		1,327,973	1,309,836	18,137	1.4
外来入院患者比率 B / C D			167.6	166.6	1.0	-
病 床 利 用 率	一 般 (%)		93.3	92.7	0.6	-
	結 核 (%)		42.1	46.8	4.7	-
	精 神 (%)		98.4	99.1	0.7	-
	伝 染 (%)		0.0	0.1	0.1	-
	計 (%)		92.1	91.8	0.3	-

(3) 収益的収支の状況

経常収益は771億21百万円、経常費用は763億91百万円となっており、経常収支比率は、101.0%と前年度(99.7%)に比べ1.3ポイント増加し、元年度以降12年ぶりに収支均衡点を上回った。

経常利益を生じた事業数は、13事業で、その額は、13億2百万円と前年度(11億58百万円)に比べ1億44百万円増加した。

経常損失を生じた事業数は、2事業で、前年度に比べ2事業減少し、その額は、5億72百万円と前年度(13億79百万円)に比べ8億7百万円減少した。

累積欠損金を有する事業数は、7事業で、前年度に比べ2事業減少し、その額は、236億38百万円と前年度(234億5百万円)に比べ2億33百万円増加した。

不良債務を有する事業数は、1事業で、前年度と同様で、その額は、1億66百万円と前年度(2億3百万円)に比べ37百万円減少した。

病院事業の経営状況は、診療報酬の改定が抑制される中で、経営改善効果の出ている事業も見受けられるものの、全体15事業の中で2事業において経常損失が生じ、7事業において累積欠損金を有するなど厳しい状況にある。

第3表 病院事業の経営状況の推移

(単位：百万円，%)

項目		年度		差 引 -	対前年増減率 / -1 × 100
		平成13年度	平成12年度		
経 常 収 益 A		77,121	73,819	3,302	4.5
う ち 医 業 収 益 B		70,143	67,172	2,971	4.4
経 常 費 用 C		76,391	74,040	2,351	3.2
差 引 (A - C) D		730	221	951	430.3
D の 内 訳	経 常 利 益 E	1,302	1,158	144	12.4
	経 常 損 失 F	572	1,379	807	58.5
累 積 欠 損 金 G		21,143	20,826	317	1.5
不 良 債 務 H		166	203	37	18.2
赤 字 等 の 事業数	経常損失を生じた事業数	2	4	2	50.0
	累積欠損金のある事業数	7	9	2	22.2
	不良債務のある事業数	1	1	0	0.0
対営業 収 益 比 率	経 常 損 失 F / B	0.8	2.1	1.3	-
	累 積 欠 損 金 G / B	30.1	31.0	0.9	-
		0.2	0.3	0.1	-
全 体 事 業 数		15	15	0	0.0
経 常 収 支 比 率		101.0	99.7	1.3	-

(4) 資本的収支の状況

資本的支出は、103億98百万円で、前年度(74億40百万円)に比べ29億58百万円(39.8%)増加した。

支出額の内訳は、建設改良費が75億39百万円で、前年度(46億72百万円)に比べ28億67百万円(61.4%)増加し、支出全体の72.5%を占め、企業債償還金が27億23百万円で、前年度(27億46百万円)に比べ23百万円(0.8%)減少し、支出全体の26.2%を占めている。

資本的支出に対する財源は、企業債及び他会計繰入金等の外部資金が85億54百万円で、前年度(50億13百万円)に比べ35億41百万円(70.6%)増加し、損益勘定留保資金及び固定資産売却代金等の内部資金が18億44百万円で、前年度(23億27百万円)に比べ4億83百万円(20.8%)減少した。また、構成比は、外部資金が82.3%、内部資金が17.7%となっている。(第4表)

第4表 資本的支出の状況

(単位：百万円，%)

項目	年度	平成13年度	平成12年度	対前年 増減額 -	対前年 増減率 / -1×100	構成比	
						平成13年度	平成12年度
資本的支出	建設改良費 A	7,539	4,672	2,867	61.4	72.5	62.8
	企業債償還金 B	2,723	2,746	23	0.8	26.2	36.9
	Bのうち建設改良のための 企業債償還金 C	2,723	2,746	23	0.8	26.2	36.9
	その他 D	136	22	114	518.2	1.3	0.3
	計 (A + B + D) E	10,398	7,440	2,958	39.8	100.0	100.0
上 記 財 源	内部資金 F	1,844	2,327	483	20.8	17.7	31.3
	外部資金 G	8,554	5,013	3,541	70.6	82.3	67.4
	Gのうち 企業債 H	5,976	2,583	3,393	131.4	57.5	34.7
	うち 他会計繰入金 I	2,091	1,940	151	7.8	20.1	26.1
	計 (F + G) J	10,398	7,340	3,058	41.7	100.0	98.7
財源不足額 (E - J) K		0	100	100	100.0	-	1.3
当年度許可債で未借入 又は未発行額 L		0	100	100	100.0	-	1.3
実質財源不足額 (K - L) M		0	0	0	-	-	-

(注) 1. 内部資金 = 補てん財源合計額 - 前年度からの繰越工事資金 + 固定資産売却代金

2. 外部資金 = 資本的支出額 - (内部資金 + 財源不足額)

3. 「実質財源不足額」とは、当該年度許可債で未借入又は未発行のもののうち、支出済として決算された事業費に対応する分を控除した場合の不足額である。